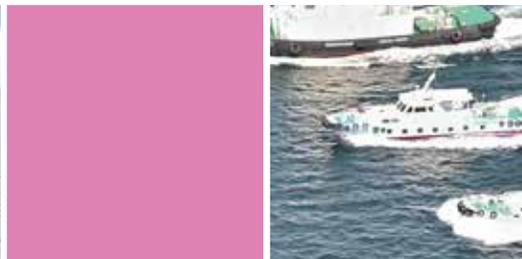




会社案内





物流で価値ある時を刻みます



ダイトーコーポレーションは
物と物、人と人、国と国をつなぎ
物流を通じて豊かで平和な
生活と社会づくりに貢献します。

私たちの生活を支える食料品の60%、
エネルギー源の95%以上を輸入に頼っており、
そのほとんどは海路によって届けられています。

海に囲まれた日本の大動脈を支える、
それが私たちダイトーコーポレーションの使命です。



トップメッセージ

おかげさまで当社は2024年9月に創立90周年を迎えました。90年の長きにわたりご支援をいただきましたお客様をはじめステークホルダーの皆様がこの場を借りて御礼申し上げます。

当社は首都圏4,000万人の生活を支える物資の玄関口である東京湾を舞台に、コンテナターミナルをはじめ、自動車船・物流ターミナルなどを運営しており、加えて港湾地域周辺での倉庫作業、輸出入通関業務、貨物輸送業務、船舶代理店業務、タグボートサービスなど港湾物流に関わる業務を幅広く展開しています。

物流を通じて豊かで平和な生活と社会づくりに貢献するとともに、省資源・省エネルギー活動を継続しながら、脱炭素などの社会課題の解決に積極的に取り組んで参ります。当社は経営ビジョン『選ばれ続けるダイトーへ』を掲げ、物流のプロフェッショナルとしてお客様や社会のニーズ“+1”を実現するために全社一丸で挑戦を続けます。

今後共、益々のご支援ご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

浅野 敦男

事業内容紹介

私たちは、物流を通じて豊かで平和な生活と社会づくりに貢献します。

東京湾は我が国最大の消費地である首都圏の海上玄関口として今後も重要な役割を担っていく事が期待されており、東京湾とその周辺地域において物流に従事している企業の果たすべき社会的な使命は益々大きくなっています。

当社は、1934年の創業以来、東京湾の港湾地区を中心として、時代と社会の要請、そして何よりもお客様のニーズにお応えしながら、港湾運送業を主として関連諸分野の事業にも積極的に進出し、今では、倉庫業、貨物利用運送業、海運代理店業、曳船業、そして海上防災業など多角的な事業を展開しています。

コンテナターミナル事業

在来船荷役事業

倉庫事業

国内物流事業

曳船事業

船舶代理店事業

海上防災事業

海貨・輸出入通関事業

内航海運事業

中国船社代理店事業

不動産事業

海外事業

自動車船荷役事業

SCM事業



当社イメージキャラクター
「つなぐちゃん。」



日本の最大物流拠点である東京港大井ふ頭、横浜港南本牧ふ頭で、川崎汽船(株)よりコンテナターミナル運営を委託され首都圏のライフラインを支えています。

大井コンテナターミナルは、外貿コンテナ取り扱い日本一の東京港大井コンテナふ頭北側に位置し、岸壁長660mにコンテナ荷役用ガントリークレーン5基を備え、ターミナル全体の面積約26万平米(東京ドームの約5.5個分)を有し、首都圏の外国貿易の玄関口として主に北米・中国・東南アジア航路のコンテナ船を中心に昼夜を問わずコンテナの揚げ積み作業を行っています。

南本牧コンテナターミナルは全体で85.4万平米を有し、世界最大級のコンテナ船を円滑に受け入れられる最新鋭のコンテナターミナルとなっています。主に東南アジア・中国・ハワイ航路のコンテナ船のターミナルオペレーションを行っています。

大井、南本牧両ターミナルとも、最新鋭のターミナルオペレーションシステム(TOS)を導入。本船荷役プラン、ヤードオペレーションの効率化を実現するとともに、税関手続きもTOSとSEA-NACCSの連携により全てコンピュータ管理されています。

また、荷役機器のハイブリッド化を推進し、CO₂削減を目的とした環境活動への貢献に努め、地球にやさしい荷役に取り組んでいます。





ダイトコーポレーション

私たちは、東京湾岸という立地を生かし、お客様の様々なニーズに対応する最適なスペースの提案、良質なサービスを提供しています。

生活がより豊かにそして便利になるにつれて、倉庫で保管する貨物もますます多様化しています。一般貨物の他に生鮮食品や医薬品、化学品などは、生産段階において品質管理が高度化しています。流通段階においても品質や鮮度を維持する為に、倉庫の設備はもちろん保管方法や運送方法にも、より高度で繊細な技術が多岐にわたって必要とされています。

当社はおお客様の物流合理化のご要望にお応えすべく、それぞれの目的に合わせた一般倉庫、定温倉庫など近代的な物流施設を、東京湾全域のウォーターフロントに配置しております。

また、コンピュータによる当社在庫管理システムにより、リアルタイムの在庫情報を提供致します。





ISO9001に支えられた徹底した安全運航管理体制により、
高品質な曳船サービスをお客様に提供しています。

横浜、川崎、千葉、清水港に曳船（タグボート）を配備し、船舶の港内航行のための進路警戒業務、離着岸の補助作業などに従事しています。

当社は1952年千葉港で曳船サービスを開始し、以来横浜港、川崎港と事業を拡大しました。そして近年では清水港、海外事業としてフィリピン（マニラ港、パダンガス港）でも曳船事業を展開しています。全曳船に最新型高出力エンジンを採用、またAIS（船舶自動識別装置）をはじめとする最新航海計器・設備を装備し、如何なる状況下においても安全で効率的な曳船サービスを提供できる体制を整え、お客様の信頼にお応えしています。





数多くの船舶が行き交う東京湾。
私たちは、海上防災の革新に取り組みながら、日夜海の安全を見守っています。

海上防災事業は、いち早く海上汚染防止、防災関係の業務に取り組み、防災船艇を配備しています。
特に防災曳船には高性能の放水装置とドライケミカル装置を完備し、荷役警戒などの海上諸作業に従事しています。





私たちは東京湾を基点とし、北海道から九州・沖縄の日本沿岸で曳航サービスをお客様に提供しています。

内航船資格をもった曳船「おきしま」は2017年8月に竣工し、日本沿岸で曳航作業をしています。

「おきしま」が想定している貨物は海上風力施設、推進機を有しない起重機船などの作業船や台船などであり、その貨物をワイヤーロープで曳航して目的地まで運びます。





東京・神奈川・千葉でオフィスビル、ワンルームマンションの
賃貸業を展開しています。

経営多角化の一環として、所有する物件の有効活用をはかり、お客様のニーズ
に応え、地域に密着したサービスを提供しています。





高い技術と細心の注意が求められる自動車船荷役。
私たちの長い歴史で培った技術・経験・信頼で、日本の自動車産業を支えています。

自動車専用船とはその名の通り、自動車を専用に運ぶ船の事です。

船の中は巨大な立体駐車場のよう構造となっており、艙内の天井はトラックや大型建機を積めるよう天井が車高に合わせて上下する事が出来ます。自動車の揚げ積み荷役は熟練ドライバーにより本船装備のランプウェイと呼ばれる通路を走行して迅速かつ安全に行います。作業能率は1チームで1時間あたり約100台を取り扱い、艙内積み付の車輛間隔は、乗用車で横10センチ、前後30センチとなります。

当社はこれまでの長年にわたり培った技術やノウハウを継承し、さらに、新しい技術と創意工夫により、安全・確実・効率的な本船荷役作業を提供しています。





長い歴史を持ち、豊富な経験と知識を求められる海上輸送の原点。
プラント・船梁などの重量物から原料貨物まであらゆる貨物の荷役に対応出来ます。

在来船は何でも積める事が大きなメリットであり、コンテナ積み出来ない大型貨物や重量物、長尺物、プラント貨物に至るまであらゆる貨物の輸送に対応出来ます。

船積みは本船装備のクレーンで作業を行います。

本船の特性と貨物の形状、重量や大きさを考慮した上で、荷役作業を行っています。

当社はこれまでの長年にわたり培った技術やノウハウを継承し、さらに新しい技術と創意工夫により、安全・確実・効率的な本船荷役作業を提供しています。





海に囲まれた私たちの国に欠かせない海上輸送。
北海道から九州・沖縄まで環境にやさしい海陸一貫輸送を展開しています。

海に囲まれた日本では、海上輸送は昔から欠かせない運搬手段。内航船による海上輸送に、自社専用トレーラーによる陸送を結びつけ、海陸一貫輸送サービスを提供しているのが、国内物流事業です。日本各地の多種多様な輸送ニーズに対応し、海と陸、それぞれのルートと人員を連携させ、効率的な運送体制を確立しています。

さらに、トラック輸送から船舶での大量一括輸送に切り換えることで、交通渋滞やCO₂排出を解消するモデルシフトの担い手となっています。





世界を航行する船舶の代理人として、入出港手続などを行う船舶代理店業。
私たちは船会社のサポーターとして物流の一役を担っております。

東京港、横浜港、川崎港、千葉港において様々な船舶が安全かつスピーディーに入出港出来るように本船を始め、運航船社、荷主、荷役会社などと綿密な連絡を取り合いながら作業に従事しております。関連官庁への許可申請手続きや着離岸時の水先人 / タグボート / 綱取放しの手配等々、祝祭日・昼夜を問わず業務に取り組んでいます。

また、コンテナ船、タンカーなどの輸送船の他にも、大学の実習船や官公庁の調査船などにも赴き、種々活動の一助を担っています。





横浜、千葉を基点とし 貨物の輸出入業務に関する一貫サービスを提供しています。

国境をまたいで貨物を輸送する場合、通関手続きは複雑。輸出入許可申請だけでなく、ワシントン条約や食品衛生法、植物防疫法など多数の法令について考慮し、その輸出入が適正かどうか確認する必要があります。

当社は東京税関長より「認定通関業者」に認定され、横浜地区・千葉地区を拠点として、豊富な知識と経験をもった通関士がお客様の通関手続きをしっかりとサポートしています。お預かりした荷物を確実に輸出入させるだけでなく、輸出入禁制品の国内への侵入や国外への持ち出しを監視し、私たちの生活を守っています。



認定通関業者認定書



豊富な配船スケジュールと日本・中国・東南アジア航路の充実したネットワークにより、
きめ細やかなサービスを提供しています。

当社アジア中国室は、新海豊集装箱運輸有限公司(SITC CONTAINER LINES)、中国外運長航集团有限公司(SINOTRANS CONTAINER LINES)、寧波遠洋運輸有限公司(NINGBO OCEAN SHIPPING)の中国船社三社の集荷代理店として上海をはじめとする中国主要港及び、それらを起点とした内陸地域への輸送を主とし、近年におきましては、韓国向け、タイ・ベトナム・フィリピンなどの東南アジア向けサービスにも力を入れています。

経験豊富な担当者が責任をもって対応させていただきます。

海上輸送についてのご相談、ご要望がございましたらお気軽にお問い合わせください。





フィリピン・マニラでお客様のニーズに合わせた
「ONE STOP SERVICE」を展開しております。

1996年フィリピンにMD DISTRIPARK MANILA, INC.を設立し、最新のWAREHOUSE MANAGEMENT SYSTEMを導入した自社所有倉庫および、自社運行車両を有し、豊富な経験を活かして、安全・確実・スピーディーな物流サービスをお客様の要望に即した“ONE STOP SERVICE”でご提供しております。

2002年には、フィリピンにおいてタグ事業に参入し、タグオペレーション会社「GreatEastern Tug Corp. (略称：GETC)」を設立して、マニラ港を中心としたタグサービスを行っております。



SUPPLY CHAIN MANAGEMENT (SCM) 事業



複数の海外サプライヤー様から多種多様な貨物を輸入されているお客様へ、
最適な物流ソリューションをご提案しております。

川崎汽船グループで、SCM事業を世界各地で展開しているCENTURY DISTRIBUTION SYSTEMS INC.の日本における代理店として、同社のVMS[®](VISIBILITY MANAGEMENT SYSTEM)を基盤としたパイヤーズコンソリデーションなどの3PL業務を提供し、国内外の多様な貨物を取り扱うお客様へ在庫管理やリードタイム削減、コスト管理など最適な物流ソリューションを提案しています。



当社は、ISO14001の認証を取得、事業活動を通して地球温暖化の抑制及び環境負荷の低減に努める取り組みを全社的に展開しています。

初回登録
登録範囲

2005年1月31日
港湾運送事業及び港湾タグ事業、
港湾防災事業、倉庫業等関連業務



環境方針

株式会社ダイトコーポレーションは、川崎汽船グループの一員として、ダイト基本理念に則り、以下の事項を確実にし、環境保全の向上並びに活動の充実を図り、地球温暖化の抑制及び環境負荷の低減に努め持続可能な社会の実現に貢献します。

- 港湾運送事業及び関連事業(倉庫、曳船等含む)活動及びサービスにおいて安全作業の遂行、温室効果ガスの排出量削減、大気汚染・海洋汚染の予防、省資源・省エネルギーの推進廃棄物の削減並びにリサイクルの推進を図る。
- 環境マネジメントシステムを適切に運用するための体制を整え、「継続的改善」「環境汚染の予防」及び「環境保護の推進」に努める。
- 環境関連法規制等を順守する。
- 本方針を達成するため、環境に与える影響を的確に捉え、環境目標を設定しその進捗状況を監視、パフォーマンスの評価を行うとともに、定期的に見直しを実施する。
- 本方針を実施し維持するとともに全従業員にこれを周知する。
- 本方針は、文書化し、社外から要求があれば開示する。



サービス向上にむけ営業部門において
ISO9001の認証を取得し、品質維持に努めています。

適用範囲



- アジア中国室
- 曳船事業部
- 物流事業部
- ターミナル事業部
- 船舶サービス事業部
- 船舶・港運事業部(京浜)
- 船舶・港運事業部(千葉)
- 情報システム部

本社

〒108-8540 東京都港区芝浦2-1-13
TEL : 03-3452-6271 FAX : 03-3798-0337

横浜支店

〒231-8330 横浜市中区本町1-3 綜通横浜ビル
TEL : 045-201-6911 FAX : 045-201-0554

千葉支店

〒260-8517 千葉市中央区中央港1-9-5
TEL : 043-238-5110 FAX : 043-238-5124

市原事業所

〒299-0107 市原市姉崎海岸29
TEL : 0436-61-6385 FAX : 0436-62-1410

コンテナターミナル事業

大井事業所

〒140-0003 東京都品川区八潮2-1-2
TEL : 03-3790-8061 FAX : 03-3790-5243

南本牧事務所

〒231-0816 横浜市中区南本牧2番地
TEL : 045-624-5741 FAX : 045-624-5750

倉庫事業

営業部 営業課

〒135-0064 東京都江東区青海4-1-16
TEL : 03-3520-1981 FAX : 03-3520-1987

大井物流センター

〒143-0001 東京都大田区東海4-10-8
TEL : 03-3799-1571~1572 FAX : 03-3799-1573

ワールド流通センター

〒135-0064 東京都江東区青海3-2-17
TEL : 03-3520-1980 FAX : 03-3520-1966

有明国際物流センター

〒135-0064 東京都江東区青海4-4-15
TEL : 03-3520-1981 FAX : 03-3520-1987

大黒物流センター

〒230-0054 横浜市鶴見区大黒ふ頭15-1
TEL : 045-506-5281 FAX : 045-506-5291

本牧物流センター

〒231-0816 神奈川県横浜市中区南本牧3-8
TEL : 045-628-6812 FAX : 045-623-9041

お台場物流センター

〒135-0064 東京都江東区青海4-2-61
TEL : 03-3528-0051 FAX : 03-3528-0050

千葉物流センター

〒260-8517 千葉市中央区中央港1-9-5
TEL : 043-238-5120 FAX : 043-238-5127

長浦センター

〒299-0265 袖ヶ浦市長浦1-21
TEL : 0438-62-1011 FAX : 0438-62-1000

北袖センター

〒299-0266 袖ヶ浦市北袖151-2
TEL : 0438-63-7471 FAX : 0438-63-7477

南袖物流ターミナル

〒299-0268 袖ヶ浦市南袖50-1
TEL : 0436-62-9171

曳船事業

曳船事業部 横浜

〒231-8330 横浜市中区本町1-3 綜通横浜ビル
TEL : 045-201-8858 FAX : 045-212-0290

曳船事業部 千葉

〒260-8517 千葉市中央区中央港1-9-5
TEL : 043-238-5118 FAX : 043-238-5123

海上防災事業

防災部

〒260-8517 千葉市中央区中央港1-9-5
TEL : 043-238-5113 FAX : 043-238-5125

内航海運事業

防災部

〒260-8517 千葉市中央区中央港1-9-5
TEL : 043-238-5113 FAX : 043-238-5125

不動産事業

不動産部

〒108-8540 東京都港区芝浦2-1-13
TEL : 03-3452-6283 FAX : 03-3452-5418

自動車船荷役事業

大黒自動車船ターミナル部

〒230-0054 横浜市鶴見区大黒ふ頭22,24番地
TEL : 045-500-6085 FAX : 045-503-5890

千葉港運部 千葉

〒260-8517 千葉市中央区中央港1-9-5
TEL : 043-238-5115 FAX : 043-238-5123

千葉港運部 市原

〒299-0107 市原市姉崎海岸29
TEL : 0436-62-9171 FAX : 0436-61-0991

在来船荷役事業

東京船舶課

〒108-8540 東京都港区芝浦2-1-13
TEL : 03-3452-6282 FAX : 03-3451-2926

常陸那珂港現場事務所

〒319-1113 茨城県那珂郡東海村
大字照沼字渚768-27
TEL : 029-265-2520 FAX : 029-265-2530

横浜船舶課

〒230-0054 横浜市鶴見区大黒ふ頭22,24番地
TEL : 045-500-6085 FAX : 045-503-5890

JFE港運部

〒260-0835 千葉市中央区川崎町13
JFEスチール東日本製鉄所(千葉地区)内
TEL : 043-261-3745 FAX : 043-265-3997

千葉港運部

〒260-8517 千葉市中央区中央港1-9-5
TEL : 043-238-5115 FAX : 043-238-5123
TEL : 0436-62-9171 FAX : 0436-61-0991

国内物流事業

国内輸送課

〒135-0064 東京都江東区青海4-1-16
TEL : 03-5520-1300 FAX : 03-3520-1987

苫小牧事務所

〒053-0056 苫小牧市あけぼの町3-3-13
TEL : 0144-53-6262 FAX : 0144-57-6248

札幌事務所

〒060-0807 札幌市北区7条西4-17-1
KDX札幌北口ビル8階805号室
TEL : 011-708-1033 FAX : 011-757-4300

千葉港運部

〒260-8517 千葉市中央区中央港1-9-5
TEL : 043-238-5115 FAX : 043-238-5123
TEL : 0436-62-9171 FAX : 0436-61-0991

船舶代理店事業

船舶代理店課(東京)

〒140-0003 東京都品川区八潮2-1-2
TEL : 03-3790-1307 FAX : 03-3790-5201

横浜代理店課

〒230-0054 横浜市鶴見区大黒ふ頭22,24番地
TEL : 045-500-6086 FAX : 045-503-5885

千葉代理店課

〒260-8517 千葉市中央区中央港1-9-5
TEL : 043-238-5111 FAX : 043-238-5125

市原代理店課

〒299-0107 市原市姉崎海岸29
TEL : 0436-61-6385 FAX : 0436-62-1410

海貨・輸出入通関事業

海貨通関課

〒230-0054 横浜市鶴見区大黒ふ頭22,24番地
TEL : 045-500-6087 FAX : 045-503-5891

千葉海貨部

〒299-0107 市原市姉崎海岸29
TEL : 0436-62-9161 FAX : 0436-62-9165

中国船社代理店事業

アジア中国室

〒108-8540 東京都港区芝浦2-1-13
TEL : 03-3452-6277 FAX : 03-3451-2931

海外事業

海外物流課

〒135-0064 東京都江東区青海4-2-61
TEL : 03-3528-0011 FAX : 03-3528-1415

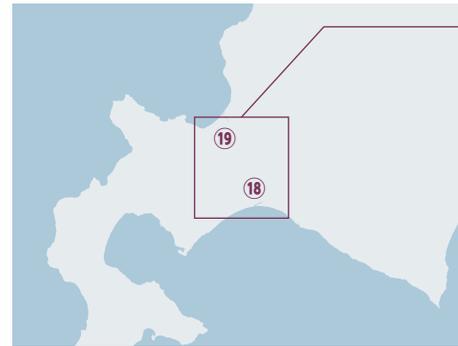
SCM事業

SCM事業課

〒143-0001 東京都大田区東海4-10-8
TEL : 03-5755-0211 FAX : 03-5755-0215



エリア拠点

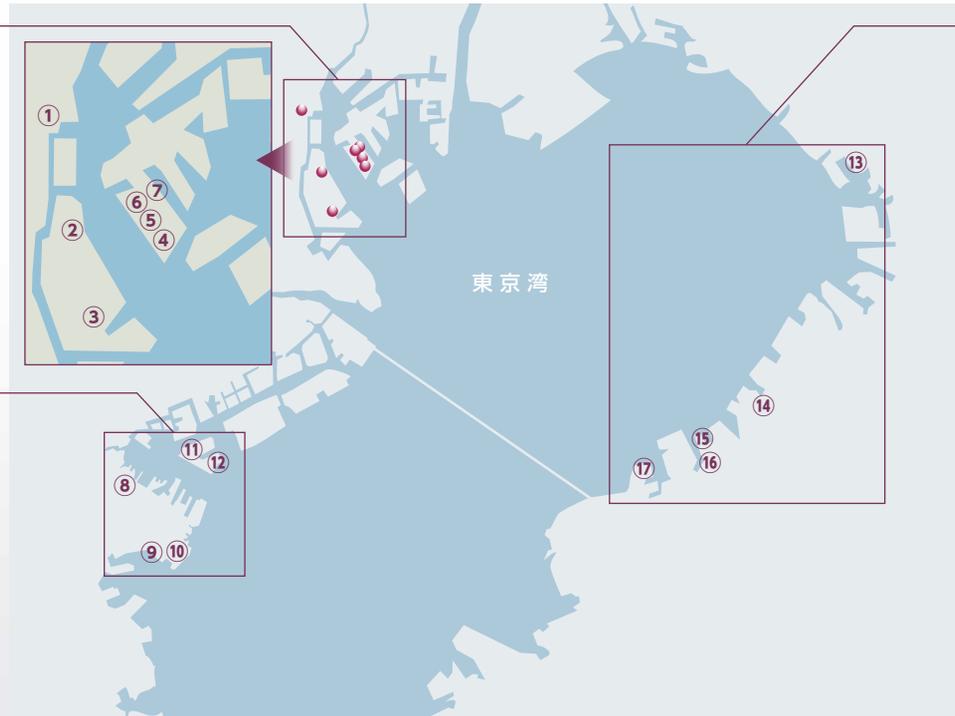


北海道地区

- ⑱苫小牧事務所
- ⑲札幌事務所

東京地区

- ①本社
- ②大井コンテナターミナル
- ③大井物流センター
- ④ワールド流通センター
- ⑤有明国際物流センター
- ⑥有明新国際ユニバーサル物流センター
- ⑦お台場物流センター



千葉地区

- ⑬千葉支店・千葉物流センター
- ⑭市原事務所
- ⑮北袖センター
- ⑯長浦センター
- ⑰南袖物流ターミナル

横浜地区

- ⑧横浜支店
- ⑨南本牧コンテナターミナル
- ⑩本牧物流センター
- ⑪大黒物流センター
- ⑫大黒C4

沿革

- 1934年** 9月 大村組と極東回漕店が合併し、資本金23万5,000円を以って大東運輸株式会社を設立
川崎汽船株式会社の京浜港における総合代理店ならびにこれに附帯する港湾運送業者として営業開始
- 1947年** 2月 横浜支店を開設(横浜出張所昇格)
- 1953年** 7月 千葉支店を開設(千葉出張所昇格)
- 1963年** 9月 横浜一文字倉庫を新築、倉庫事業開始
- 1965年** 2月 資本金2億円に増資
- 1965年** 7月 本社社屋を新築
- 1968年** 9月 資本金4億円に増資
- 1969年** 8月 本牧コンテナターミナル(本牧事業所)を開設
- 1972年** 10月 大井コンテナターミナル(現大井事業所)を開設
- 1974年** 6月 袖ヶ浦支店(現市原事業所)を開設(袖ヶ浦出張所昇格)
- 1974年** 12月 東京湾内における海上防災事業開始
- 1976年** 9月 袖ヶ浦倉庫(長浦センター、倉庫、事務所)を開設
- 1979年** 11月 有明定温センター(倉庫、事務所)を開設
- 1985年** 7月 日本/中国間国際複合一貫輸送業務開始
- 1985年** 9月 大東田町ビルディング完成。不動産業務開始
- 1987年** 5月 本社ビル別館完成
- 1989年** 4月 大井物流センター(倉庫、事務所)を開設
- 1991年** 3月 資本金8億4,250万円に増資
- 1991年** 12月 北袖センター(倉庫)を開設
- 1992年** 12月 千葉ポートセンターを開設
- 1993年** 4月 ワールド流通センター(倉庫、事務所)を開設
- 1993年** 6月 大井定温センター(倉庫、事務所)を開設(2001年3月閉鎖)
- 1993年** 10月 株式会社ダイトーコーポレーションに社名変更
- 1996年** 1月 大黒物流センター(倉庫、事務所)を開設
- 1996年** 3月 フィリピンに総合物流センターMD Distripark Manila, Inc. (合弁会社)を設立
- 1998年** 1月 有明国際物流センター(倉庫、事務所)を開設
- 2000年** 1月 袖ヶ浦支店を廃止し、千葉支店に統合
- 2001年** 5月 中国に青島事務所を開設(2008年9月閉鎖)
- 2001年** 12月 米国にロスアンゼルス事務所を開設(2009年3月閉鎖)
- 2002年** 1月 中国に香港事務所を開設(2008年12月閉鎖)
- 2002年** 1月 親会社(株)ケイライン物流ホールディングスの新物流会社(株)ケイロジスティックスの設立に伴い、当社戦略営業推進事業部及び海貨事業部の海貨セールス業務を同社に移管
- 2002年** 3月 有明定温センター跡地に有明新国際ユニバーサル物流センター(倉庫、事務所)を開設
- 2002年** 8月 定款の目的に「産業廃棄物の収集、運搬及び処理業」を追加(2016年6月削除)
- 2002年** 9月 フィリピンのマニラにタグボート会社 GREAT EASTERN TUG CORP. を設立
- 2003年** 4月 苫小牧事務所を開設
- 2004年** 2月 ダイトー基本理念制定
- 2005年** 1月 環境マネジメントシステムISO14001認証取得
- 2005年** 4月 全営業部門でISO9001:2000認証取得を完了
- 2005年** 11月 新本社ビル竣工
- 2006年** 11月 本牧事業所(川崎汽船横浜コンテナターミナル)本牧A-8号より、A-5.6号へ移転
- 2007年** 11月 上海事務所開設(2019年3月閉鎖)
- 2008年** 11月 フィリピンのMD Distripark Manila, Inc. を完全子会社化
- 2009年** 4月 本牧物流センター開設
- 2011年** 3月 定款の目的に「警備業」を追加
- 2012年** 3月 パイロットビル竣工
- 2013年** 12月 南袖物流ターミナル開設
- 2016年** 6月 定款の目的に「内航海運業」を追加
- 2016年** 9月 東京税関長より「認定通関業者」に認定
- 2016年** 10月 川崎汽船横浜コンテナターミナルである本牧事業所が大黒事業所へ移転
- 2017年** 3月 長浦センター新倉庫を開設
- 2017年** 9月 札幌事務所を開設
- 2021年** 4月 川崎汽船横浜コンテナターミナルである大黒事業所が南本牧事務所へ移転
- 2022年** 4月 大黒C-4自動車船ターミナル運営開始

会社概要

社名	株式会社ダイトーコーポレーション
設立	1934年(昭和9年)9月3日
資本金	8億4,250万円
株主	KLKGホールディングス株式会社
本社所在地	東京都港区芝浦2-1-13
支店所在地	横浜、千葉
営業種目	<ul style="list-style-type: none">・ 港湾運送事業・ 海上運送事業・ 内航海運業・ 海運代理店業・ 貨物利用運送事業・ 通関業・ 港湾タグ事業・ 海上防災事業・ 警備業・ 倉庫業・ 倉庫、土地、建物の賃貸業・ 貨物自動車運送事業・ 損害保険代理業・ 自動車損害賠償保障法に基づく保険代理業・ 石油製品及びその副製品の販売業・ 自動車並びに輸送機器の分解整備業・ 船舶・船用機器、自動車・運搬輸送用機器、防災機器及びその他の機械設備の製造・売買斡旋仲介業並びに賃貸業・ 機械器具設置工事業 以上各号に附帯する一切の業務

子会社	芝浦海運株式会社 春海曳船株式会社 ディ・ユー・ケイ曳船サービス株式会社 千葉港栄株式会社 新協和海運株式会社 MD Distripark Manila, Inc.
関連会社	東海陸運株式会社 双葉船舶株式会社 防災特殊曳船株式会社 千葉ポートサービス株式会社 相川海運産業株式会社 GREAT EASTERN TUG CORPORATION (GETC)
協力会社	横浜川崎曳船株式会社 東海海運株式会社 原田港湾株式会社 第工株式会社 港栄作業株式会社 東洋船舶作業株式会社

株式会社 **タイトコーポレーション**

<https://www.daitocorp.co.jp>